



ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 2月号 (No.18)

令和3年2月5日発行

地域の皆さんに支えられて

学校が臨時休校となった大雪から、早1か月が経とうとしています。“喉元過ぎれば熱さを忘れる”ではありませんが、目の前から雪が無くなると、ずいぶん昔の出来事のように思ってしまう。

上越地域では35年ぶりの大雪で、積雪のために交通網が寸断され、車や公共交通機関が使えず、私たちの生活に多大な影響を与えました。学校も、校地内の除雪ができず、送迎ロータリーが通行できない、保護者と職員の駐車場が確保できない、給食の食材の搬入ができないなど、学校の受け入れ体制が整わず4日間の臨時休校となってしまいました。自然の力の前には、人の力は小さなものであることを改めて感じました。いずれにせよ、子どもたちや保護者の皆さんが無事であったことを何より喜んでいきます。また、学校再開に向けてご尽力をいただいた行政機関、除雪関係の皆さんに大変感謝をしているところです。

さて、学校は、1週間のブランクはありましたが、1年間の仕上げの学期として、着実に教育活動を進めています。先日は、糸魚川市に在住の邦楽家のお二人を学校にお招きをして「邦楽鑑賞教室」開催しました。子どもたちは、普段接することが少ない和楽器の尺八と箏の調べに、しっとりと落ち着いた雰囲気を感じながら静かに聴き入っていました。一方、自分たちの知っているアニメの曲が演奏されると、手拍子でリズムをとりながら楽しさを体全体で表していました。

子どもたちにとって、五感を働かせて学習することは、調和のとれた心身の発達に欠かせないものです。貴重な学習機会となったことを喜んでいきます。

今回の邦楽鑑賞教室は例年にはない企画で、それをコーディネートしていただいたのが、当校の地域学校協働活動推進員であり、学校運営協議会(コミュニティー・スクール)委員でもある山本 修さんです。ひすいの子どものためにお骨折りをいただき、ありがとうございます。

糸魚川タイムス掲載 2021年(令和3年)1月25日(月)



和の調べ届ける

糸魚川市立ひすいの里総合学校

「竹絃の音」訪れ演奏

糸魚川市立ひすいの里総合学校(本間敷校)長ひでゆき、山崎修さん「邦楽鑑賞教室」が開かれた。市内で活動する...

糸魚川市立ひすいの里総合学校(本間敷校)長ひでゆき、山崎修さん「邦楽鑑賞教室」が開かれた。市内で活動する...

糸魚川市立ひすいの里総合学校(本間敷校)長ひでゆき、山崎修さん「邦楽鑑賞教室」が開かれた。市内で活動する...

糸魚川市立ひすいの里総合学校(本間敷校)長ひでゆき、山崎修さん「邦楽鑑賞教室」が開かれた。市内で活動する...

「六段の調」、尺八の二重奏で「雪」「春を告ぐ」を奏する。音色で奏で、伝統楽器を紹介した。



楽しく学んだ給食集会！

1月24日～30日は「全国学校給食週間」でした。この時期はいろいろな学校で「給食週間」を設定して、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための学習をしたり、給食のために力を尽くしてくれている人への感謝の気持ちを表したりする活動をしています。

ひすいの里総合学校でも25日（月）に、糸魚川小学校の栄養教諭 山本先生からお出でいただき、給食集会を行いました。

始めに、給食の歴史を学んだ後、この給食週間で提供される「神話でつながる特別給食」に関わって、「出雲市・諏訪市・糸魚川市」の結び付きを寸劇で学習しました。そして、3市の特産物や神話等をイメージした給食献立について理解を深めました。子どもたちは、コミカルな職員の演技に引き込まれ、3市のつながりを知り、特別給食への期待感をもつことができました。



- ・大国主大神（島根県出雲市）
- ・奴奈川姫（新潟県糸魚川市）
- ・建御名方神（長野県諏訪市）



↑ <糸魚川市HPより> ↓

次に、給食クイズに答えながら、給食づくりの実際について学習しました。「Q1：給食は、毎日何人分をつくるのでしょうか？ ①10人分 ②100人分 ③520人分 のどれでしょう。」

「Q2：調理員さんは、何人いるでしょう？ ①1人 ②6人 ③30人 のどれでしょう。」子どもたちは、隣の友達と指で数字を示して相談したり、首をかしげたりしながら、自分のこれだと思う数字で挙手をしていました。「やったー！当たった！！」正解した子どもは得意満面の笑顔、一方、間違った子どもはくやしい気持ちを、げんこつを作って表していました。

最後は、調理員さんの紹介と子どもたち全員で山本先生に「いつもおいしい給食を作ってください、ありがとうございます。」と声をそろえて言いました。感謝の気持ちをしっかりと伝えることができました。

